

地域に診療情報を発信

ガイドブック作成

念蘭
製鉄
室



地域住民に分かりやすい内容に変更した。

内科や循環器内科、消化器外科、小児科、産婦人科など19診療科と緩和ケア外来のほか、看護部、地域医療連携課、医療福祉相談室の紹介も収載。各診療科のページでは医師と対象疾患、治療や検査、診療実績などを写真やグラフを豊富に使い、まとめている。

同病院は2016年に、地域におけるがん治療を中心にした「がん治療の今」フレット「がん治療の今」を発行。患者に無料配布したところ、「治療を受けたところ、治療を受ける際に役立つ」と反響が大きかったという。

作成に携わった地域医療連携課は「連携医療機関だけではなく、一般人にも医師の顔や検査、治療を理解してもらい、来院時の不安解消につながる」と話す。初回に発行した3千部は残り少なく、3千部の追加発行を検討している。今後は、年度ごとに改訂版を発行する予定だ。

室蘭市の製鉄記念室蘭病院（松木高雪理事長、前田征洋院長・347床）は、「診療ガイドブック2017」写真Ⅱを作成した。診療情報発信のため、来院患者や地域住民に無料で配布している。

「診療各科の詳しい情報がほしい」との要望も多かったことから、連携医療機関向けに発行した「地域医療連携パンフレット」をもとに、患者や

A4判53ページ。問い合わせは☎0143(44)4650。